

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

犬山市議会 議長 柴田浩行 様

犬山市議会議員 大沢 秀教

下記のとおり、視察調査の成果を報告いたします。

調査日時：令和6年2月14日(水)

視察先：香川県高松市役所

調査項目 「スマートシティについて」

調査の内容

- ・平成28年に実施されたG7香川高松通信大臣会合をきっかけに、「スマートシティたかまつ」の取り組みが始まった。
- ・誰もがデジタル社会の恩恵を受けられる環境整備を行っている。「デジタルデバイス対策」として、地域コミュニティ協議会がスマホ教室などを行っている。
- ・防災分野での活用は、世代を超えて関心のある取り組みであると感じる。実際に視察先でQRコードを読み込んでみたところ、簡単にサービスにアクセスすることができ、防災ダッシュボードとして国・県の情報や、市独自の情報（水位計や潮位系のデータなど）を合わせて表示可能である。市民はもちろんだが、災害時のふるさとの様子が気になる元市民にも好評いただけると思う。
- ・観光分野では、レンタサイクルの利用動態をデータとして集め、施策づくりに生かす取り組みがあった。

成果・提言

- ・犬山市における実践は、できることから積み重ねればよいと考える。IT化は程度の差はあれど進んでいるわけだから、効率的かつ効果的で簡単な方法に着実に進んでいけばよい。結果的に、市民サービスが向上すればよい。
- ・高齢者などのデジタル弱者が、はじめから拒否してしまうことのないような、やさしい取組が必要である。犬山総合高校が市民貢献に意欲的であるので、協働で新たなデジタル弱者向け事業を作り上げ、市民サービスを共に作り上げる貴重なプログラムができるのではないか。(まずは身近なスマートフォンを入り口として、高校生講師によるデジタル入門)
- ・犬山市も市域が広いという地域特性があり、デジタル化によって山間地の住民もサービスを受けやすくする取り組みは、意義が大きい。

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

犬山市議会 議長 柴田浩行 様

犬山市議会議員 大沢 秀教

下記のとおり、視察調査の成果を報告いたします。

調査日時：令和6年2月15日(木)

視察先：愛媛県四国中央市役所

調査項目 「デマンドタクシーの取組について」

調査の内容・成果

- ・四国中央市は鉄道駅が6駅あり、高速バスの便も充実しており、四国の県庁所在地4市と車で1時間の位置にあるターミナル都市であるため、他市との行き来の利便性は優れた町である。
- ・問題は、広い市域面積(約421 k㎡)の市内(生活圏内)を移動するための手段である。住民から要望があり、コミュニティバスの導入を検討し始めたが、課題が多かったため、市独自の公共交通を導入する方針での検討を始めた。
- ・四国中央市のデマンドタクシーは、アンケート調査等を踏まえ、利用者からの予約に応じて柔軟に対応できるデマンド交通とし、運行日時や運行エリアを限定的なものとするデマンドタクシーを導入した。
- ・現地視察として、デマンドタクシーの予約受付及び、運行事業者との調整を行っているコールセンターの業務を見学させていただき、現場での問題点や解決方法、今後の課題等を聴き取ることができた。
- ・今後は、運転免許自主返納の取組と、幅広い年齢層への利用促進のアピールをセットで進め、利用率を高めることが課題であると学ばせていただいた。

犬山市への提言

- ・犬山市における公共交通政策の軸はコミュニティバス事業であるが、バス路線の改定を行いながら、広く市民からの要望に応えるのは至難の業である。また、事業費の費用対効果を考えれば、問題だらけである。
- ・犬山市内東部の山間地区において、(既設バス停から遠い住民の強い要望というかたちで)昨年度、デマンドタクシーの実証実験を行ったが、参考になるほどの利用者数がなかったと判り、たいへん残念であった。
- ・犬山市では今後、鉄道駅との連絡連携をさらに進め、利用者のニーズを的確にとらえて、路線運行でのコミュニティバス事業で利便性の向上に努めていただきたい。同時に、コミュニティバスを積極的に利用していただくための努力も必要である。